

GIGAスクール構想対応 その後の課題とセキュリティ対策

教職員端末 / 学習者用端末における課題

- ・ 教職員のテレワーク時におけるセキュリティ
- ・ 児童生徒の持ち帰り学習
- ・ 学外で利用した端末の学内への持ち込み

1. 教職員向けテレワークシステム(ゼロトラスト対応)

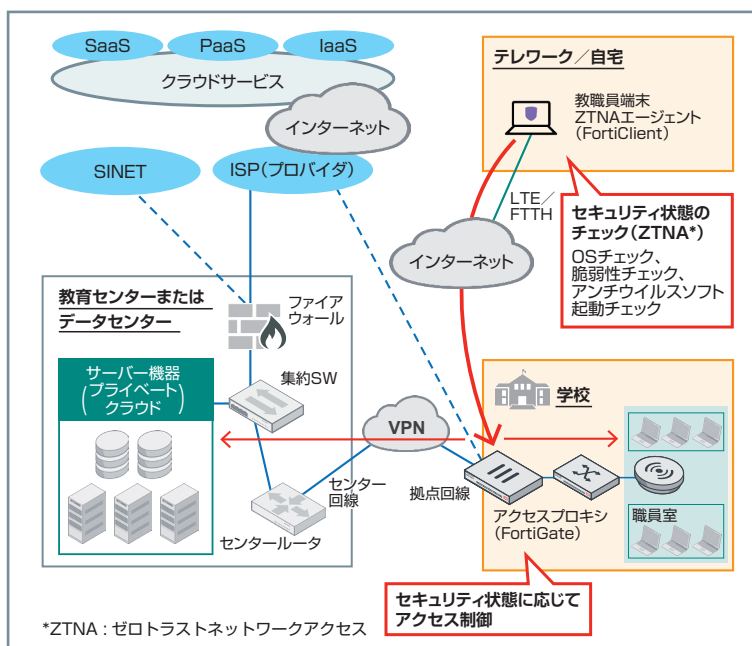
● 課題

教職員のテレワーク時におけるセキュリティ

● 解決策 : ZTNA(ゼロトラストネットワークアクセス)とEDR

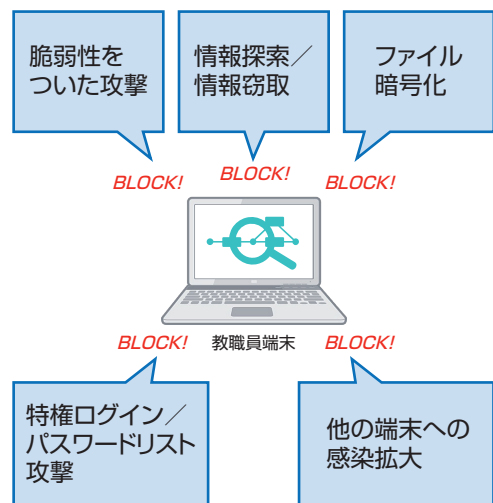
- ・ テレワーク時のセキュアリモートアクセスを実現(FortiClient)
- ・ 教職員の端末のセキュリティ状態を常時チェック(ZTNA)
- ・ ポリシー違反 / 感染端末は学内サーバへのアクセスを制御
- ・ 学内サーバへの接続は学内 / テレワーク時で同じ使い勝手
- ・ 「教育情報セキュリティポリシーガイドライン」に準拠したアクセス制限の実現
- ・ アンチウイルスソフトをEDR*にすることで、未知の脅威やランサムウェアによるファイル暗号化を未然に防止
- ・ クラウド型リモートアクセスの選択も可能(SASE)

*EDR : Endpoint Detection and Responseの略で、これまでのアンチウイルスソフトで検出できない脅威の振る舞いを検知し攻撃を無効化する



<教職員向けテレワークシステム>

FortiEDRによる保護



2. 児童生徒の持ち帰り学習

● 課題

自宅での学習者用端末利用時の不適切なサイトアクセスリスク、ウイルス感染リスク

● 解決策

- ・ ウイルス対策ソフト
- ・ フィルタリングソフトによる特定サイトの閲覧制限
- ・ ログによる利用状況の確認
- ・ 学習者用端末の脆弱性の見える化

ウイルス対策/
フィルタリングソフト(FortiClient)



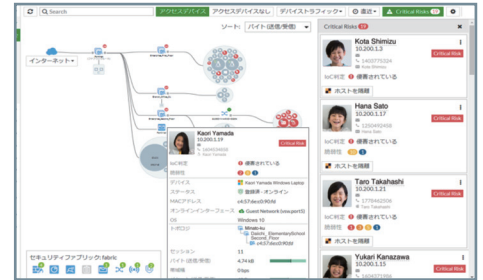
3. 学外で利用した端末の学内への持ち込み

● 課題

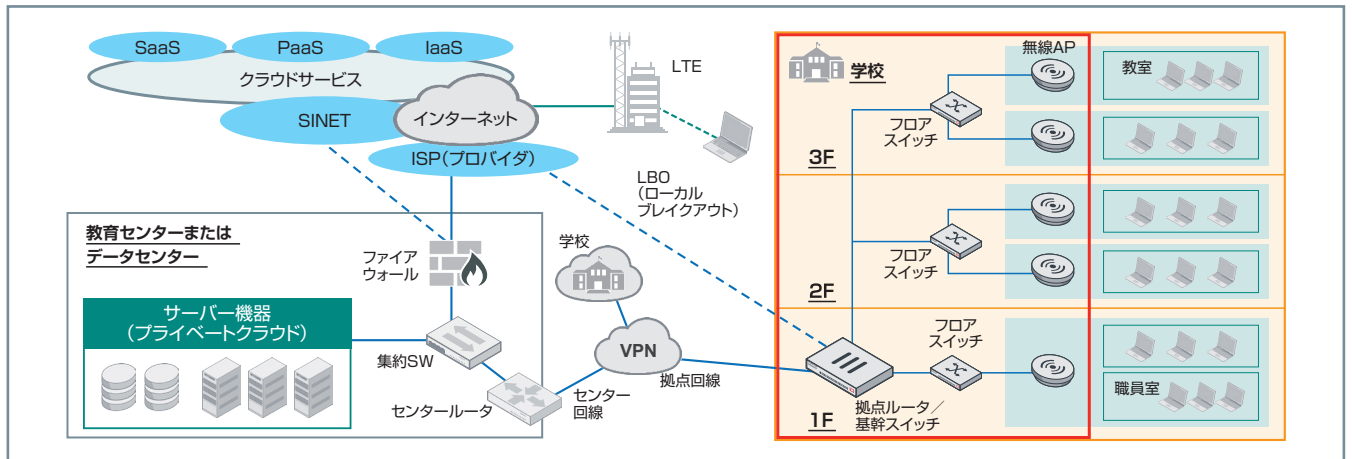
テレワークや持ち帰り学習をした端末の学内への持ち込みによるウイルスの拡散リスク

● 解決策

- ・ 危険な端末の自動隔離で、影響範囲の最小化
- ・ 校内ネットワークや通信状況の見える化で通信遅延や障害をすぐに発見
- ・ 拠点ルータ(FortiGate)の管理画面で校内ネットワークを集中管理



<FortiGateから見るネットワークポロジ>



<セキュアSDブランチによる校内ネットワーク>

FORTINET

フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032
東京都港区六本木 7-7-7
Tri-Seven Roppongi 9 階
www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ